

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月5日

上場会社名 焼津水産化学工業株式会社  
 コード番号 2812 URL <http://www.vskf.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

(氏名) 坂井 和男  
 (氏名) 塩澤 泰

TEL 054-202-6044

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	15,621	—	819	—	888	—	510	—
20年3月期第3四半期	14,365	2.3	752	6.2	865	2.5	472	△3.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	36.34	—
20年3月期第3四半期	33.65	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	20,969	—	16,590	79.1	—	—	1,180.66	—
20年3月期	20,660	—	16,615	80.4	—	—	1,182.45	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 16,590百万円 20年3月期 16,615百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	10.00	—	9.00	19.00
21年3月期	—	10.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	14.00	24.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

21年3月期 期末配当金の内訳 普通配当9円00銭、記念配当5円00銭

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	4.5	1,040	20.6	1,150	17.0	640	23.0	45.54

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等 4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等 4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 14,056,198株 20年3月期 14,056,198株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 4,665株 20年3月期 4,237株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 14,051,764株 20年3月期第3四半期 14,052,316株

※ 「四半期財務諸表に関する会計基準」の適用

当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い、四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）におけるわが国経済は、米国のサブプライム問題に端を発した「100年に一度」といわれる世界的金融危機、夏場にかけての原油高騰などが实体经济に大きく影響を及ぼし、景気は急激に低下し、大幅な後退が余儀なくされる状況であります。

食品業界におきましても、食品偽装問題など食の安全・安心に対する信頼が大きく崩れ、それによる規制強化、原材料の高騰などマイナス要因に加え、景気低迷による消費の低下により非常に厳しい環境下で推移しました。

このような中で、当社グループは「おいしさと健康」をテーマに、「3ヵ年中期経営計画」の中間期として着実に成果をあげてまいりました。

当社の主力商品である調味料事業では、当社の優れた乾燥技術を駆使した粉末製品が順調に推移したほか、当社独自の技術で開発した「風味氷結シリーズ」の発売、「低塩調味料シリーズ」の普及活動など、業務用マーケットへの展開を進めております。また、機能食品部門では「N-アセチルグルコサミン」、「海洋性コラーゲン」の一層の市場拡大に注力してきました。

損益につきましては、第2四半期から第3四半期にかけて原材料・燃料の大幅な高騰、証券市場の急激な低下に伴う退職給付費用の増加というマイナス要因があったものの、生産効率、経費削減及び連結子会社の収益改善に努めてまいりました。

以上の結果、当社グループの累計売上高は、前年同期比8.7%増の156億21百万円、営業利益は、前年同期比8.9%増の8億19百万円、経常利益は、前年同期比2.6%増の8億88百万円、四半期純利益は8.0%増の5億10百万円となりました。（前年同期比は、参考として記載しております。）

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比3億8百万円増加し、209億69百万円となりました。これは休日要因による現金及び預金の12億19百万円、非連結子会社の連結子会社化及び株価の急激な低下により投資有価証券が4億49百万円各々減少したものの、売上債権が12億5百万円、棚卸資産が3億67百万円、設備投資などにより有形固定資産が2億80百万円増加したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比3億34百万円増加し、43億79百万円となりました。これは長期借入金が1億85百万円減少するなど、固定負債が78百万円減少したものの、仕入債務が4億13百万円増加するなど流動負債が4億12百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末比25百万円減少し、165億90百万円となりました。これは利益剰余金は1億42百万円増加しましたが、有価証券評価差額金が1億55百万円減少したことによるものです。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、12億49百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動の結果、使用した資金は1億74百万円となりました。

この内訳の主なものは、税金等調整前四半期純利益8億49百万円、減価償却費4億80百万円等の資金の増加に対し、売上債権の増加額11億63百万円、法人税等の支払額4億34百万円等の資金の減少によるものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は7億47百万円となりました。

この内訳の主なものは、有形固定資産の取得による支出7億36百万円です。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動の結果、使用した資金は4億19百万円となりました。

この内訳の主なものは、長期借入金の返済に要した支出1億97百万円、配当金の支払額2億35百万円です。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、世界的な金融不安が払拭されず、実体経済の急激な悪化が続き、消費マインドが益々低下する中でこれまでにない厳しい経営環境が続くものと予想されます。

このような厳しい状況下、当社グループは、調味料事業及び機能性事業の着実な発展に尽力し、相応の成果を上げていく方針であります。

前回予想の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては現状変更はありません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示してあります。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### ① 「四半期財務諸表に関する会計基準」の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

##### ② たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）により算出しております。これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ16,587千円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、セグメント情報に記載しております。

##### ③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取り扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取り扱い」（実務対応報告18号 平成18年5月17日）を適用しております。

なお、これによる損益への影響はありません。

##### ④ 有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び国内連結子会社の機械装置の耐用年数については、従来8～9年としておりましたが、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、10年に変更いたしました。

この変更により、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が、それぞれ19,043千円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、セグメント情報に記載しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,415,385	3,634,500
受取手形及び売掛金	5,428,029	4,222,668
有価証券	100,113	101,195
商品	158,890	131,672
製品	1,208,658	1,274,248
原材料	1,408,585	997,135
貯蔵品	29,586	34,985
繰延税金資産	91,830	92,621
その他	120,504	121,690
貸倒引当金	△3,200	△2,100
流動資産合計	10,958,384	10,608,618
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,763,401	2,677,971
機械装置及び運搬具（純額）	1,643,423	1,435,700
土地	2,388,603	2,381,036
建設仮勘定	74,120	93,526
その他（純額）	94,949	95,744
有形固定資産合計	6,964,498	6,683,979
無形固定資産	62,058	77,534
投資その他の資産		
投資有価証券	2,249,746	2,699,363
繰延税金資産	377,961	244,988
その他	367,428	347,109
貸倒引当金	△20,012	△15,856
投資その他の資産合計	2,975,123	3,275,605
固定資産合計	10,001,681	10,037,119
繰延資産	9,405	14,946
資産合計	20,969,471	20,660,684

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,235,746	1,821,813
短期借入金	309,668	241,344
1年内返済予定の長期借入金	331,481	343,686
未払法人税等	120,780	209,281
未払消費税等	7,787	57,458
賞与引当金	45,857	122,540
役員賞与引当金	27,405	—
その他	520,145	389,950
流動負債合計	3,598,870	3,186,075
固定負債		
長期借入金	260,000	445,500
繰延税金負債	28,108	—
退職給付引当金	340,036	265,718
長期未払金	144,531	139,136
その他	7,783	8,563
固定負債合計	780,459	858,918
負債合計	4,379,330	4,044,994
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,617,642	3,617,642
資本剰余金	3,414,133	3,414,146
利益剰余金	9,634,357	9,492,081
自己株式	△5,224	△4,806
株主資本合計	16,660,908	16,519,065
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△118,369	36,773
為替換算調整勘定	47,601	59,850
評価・換算差額等合計	△70,768	96,624
純資産合計	16,590,140	16,615,689
負債純資産合計	20,969,471	20,660,684

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	15,621,565
売上原価	12,430,441
売上総利益	3,191,124
販売費及び一般管理費	2,371,515
営業利益	819,608
営業外収益	
受取利息	11,394
受取配当金	53,026
受取賃貸料	9,927
その他	47,104
営業外収益合計	121,452
営業外費用	
支払利息	16,822
為替差損	23,288
その他	12,821
営業外費用合計	52,932
経常利益	888,127
特別損失	
固定資産除却損	3,405
投資有価証券評価損	34,701
その他	60
特別損失合計	38,166
税金等調整前四半期純利益	849,961
法人税等	339,358
四半期純利益	510,602

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
売上高	5,263,422
売上原価	4,168,298
売上総利益	1,095,124
販売費及び一般管理費	805,204
営業利益	289,919
営業外収益	
受取利息	3,563
受取配当金	14,615
受取賃貸料	3,841
その他	15,072
営業外収益合計	37,093
営業外費用	
支払利息	4,737
為替差損	16,219
その他	3,935
営業外費用合計	24,893
経常利益	302,120
特別損失	
固定資産除却損	23
投資有価証券評価損	11,951
特別損失合計	11,974
税金等調整前四半期純利益	290,145
法人税等	109,960
四半期純利益	180,185

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	849,961
減価償却費	480,708
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	74,239
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,256
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△76,683
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	27,405
受取利息及び受取配当金	△64,420
支払利息	16,822
為替差損益 (△は益)	18,514
有形固定資産除却損	3,405
有価証券売却損益 (△は益)	△402
投資有価証券評価損益 (△は益)	34,701
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,163,880
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△331,311
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	6
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△20,682
仕入債務の増減額 (△は減少)	366,539
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△51,570
長期未払金の増減額 (△は減少)	△1,080
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	38,648
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△780
その他	5,717
小計	211,113
利息及び配当金の受取額	64,434
利息の支払額	△15,988
法人税等の支払額	△434,016
営業活動によるキャッシュ・フロー	△174,457
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△2,133,045
定期預金の払戻による収入	2,018,027
有価証券の取得による支出	△199,990
有価証券の売却による収入	201,288
有形固定資産の取得による支出	△736,140
無形固定資産の取得による支出	△3,152
投資有価証券の取得による支出	△5,290
投資有価証券の売却による収入	110,310
その他	493
投資活動によるキャッシュ・フロー	△747,498

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	14,236
長期借入金の返済による支出	△197,705
自己株式の取得による支出	△617
自己株式の売却による収入	167
配当金の支払額	△235,817
財務活動によるキャッシュ・フロー	△419,735
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,022
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,360,713
現金及び現金同等物の期首残高	2,583,273
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	26,580
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,249,140

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

	調味料事業 (千円)	機能食品事業 (千円)	水産物事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	7,732,767	5,453,776	1,693,203	741,818	15,621,565	—	15,621,565
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	88,129	230	9,947	26,794	125,101	(△125,101)	—
計	7,820,896	5,454,006	1,703,150	768,613	15,746,666	(△125,101)	15,621,565
営業利益	799,117	435,570	2,455	107,873	1,345,017	(△525,409)	819,608

(注) 1. 事業区分の方法

当連結グループの事業区分の方法は、製品・商品の種類、性質等の類似性を考慮のうえ、食品メーカーに対する業務用の各種調味料の部門、キッチン・キトサンなど海洋機能性素材、またそれらを原料とした製品群及び、医療栄養食を主体とする機能食品部門、冷凍マグロ、カツオ加工、倉庫業を中心とする水産物事業部門、業務用・家庭用のワサビ類を中心とする香辛料や個包装食品などのその他の部門とに区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
調味料事業	各種エキス、各種オイル、各種スープ、各種粉末調味料、風味調味料、各種具・惣菜
機能食品事業	各種海洋機能性素材、各種オリゴ糖類、キッチン・キトサン類、医療栄養食
水産物事業	冷凍マグロ、カツオ加工、魚問屋、倉庫業
その他の事業	各種ワサビ類、各種辛子類、各種香辛料、各種個包装食品、各種受託加工類

3. 営業費用の取り扱いの変更

事業の種類別セグメント情報における営業費用について、セグメント別の営業損益をより適正に表示するため、その発生の態様と配賦基準を見直しました。

この変更により、変更前の方法によった場合と比較して、当連結会計年度の第3四半期連結累計期間の「調味料事業」、「機能食品事業」及び「その他の事業」の営業利益は、それぞれ61,069千円、59,522千円及び124,058千円増加し、「水産物事業」及び「消去又は全社」欄の営業利益は、それぞれ3,908千円、240,741千円減少しております。

4. 会計処理の方法の変更

(たな卸資産の評価に関する会計基準)

「定性的情報・財務諸表等 4. その他(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更②たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、「調味料事業」で10,097千円、「機能食品事業」で2,834千円、「その他の事業」で3,654千円それぞれ減少しております。

5. 有形固定資産の耐用年数の変更

「定性的情報・財務諸表等 4. その他(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法の変更④有形固定資産の耐用年数」に記載のとおり、当社及び連結子会社の機械装置の耐用年数については、従来8～9年としておりましたが、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、10年に変更いたしました。

これにより、営業利益が「調味料事業」で5,084千円、「機能食品事業」で12,574千円、「水産物事業」で1,191千円、「その他の事業」で193千円増加しております。

〔所在地別セグメント情報〕

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	15,576,797	44,767	15,621,565	—	15,621,565
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	247,551	247,551	(△247,551)	—
計	15,576,797	292,319	15,869,117	(△247,551)	15,621,565
営業利益	1,356,042	△16,124	1,339,917	(△520,309)	819,608

(注) 従来、全セグメント売上高の合計、営業損益及び全セグメントの資産の合計額における「日本」の割合が90%を超えていたため、所在地別セグメント情報の記載を省略しておりましたが、「日本」の資産の割合が90%以下となったため、当連結会計年度から所在地別のセグメント情報を記載しております。

〔海外売上高〕

海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期第3四半期末)	
	金額(千円)	構成比 (%)
I 売上高	14,365,894	100.0
II 売上原価	11,683,018	81.3
売上総利益	2,682,876	18.7
III 販売費及び一般管理費	1,930,184	13.5
営業利益	752,692	5.2
IV 営業外収益	150,548	1.0
V 営業外費用	37,851	0.2
経常利益	865,389	6.0
VI 特別利益	116,071	0.8
VII 特別損失	90,545	0.6
税金等調整前第3四半期(当期) 純利益	890,915	6.2
税金費用	418,042	2.9
第3四半期(当期)純利益	472,872	3.3

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書  
 前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期第3四半期)
区分	金額(千円)
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期(当期)純利益	890,915
減価償却費	496,246
負ののれん償却額	△456
退職給付引当金の増加額(△:減少額)	8,717
役員退職慰労引当金の増加額(△:減少額)	△217,468
賞与引当金の増加額(△:減少額)	△80,076
受取利息及び受取配当金	△78,512
支払利息	21,962
売上債権の増加額	△506,824
たな卸資産の減少額(△:増加額)	411,106
仕入債務の増加額	47,525
その他	119,527
小計	1,112,661
利息及び配当金の受取額	78,531
利息の支払額	△20,659
法人税等の支払額	△560,300
営業活動によるキャッシュ・フロー	610,232

	前年同四半期 (平成20年3月期第3四半期)
区分	金額(千円)
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,409,827
定期預金の払戻による収入	1,407,523
有価証券の取得による支出	△450,350
有価証券の売却による収入	648,501
有形固定資産の取得による支出	△156,917
有形固定資産の売却による収入	3,247
無形固定資産の取得による支出	△4,916
投資有価証券の取得による支出	△387,673
投資有価証券の売却による収入	583,440
その他投資の増加額	△6,918
投資活動によるキャッシュ・フロー	226,110
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増加額(△:純減少額)	△430,930
長期借入金の返済による支出	△336,427
自己株式の売却による収入	104
自己株式の取得による支出	△663
配当金の支払額	△246,253
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,014,170
4. 現金及び現金同等物に係る換算差額	1,055
5. 現金及び現金同等物の減少額	△176,772
6. 現金及び現金同等物の期首残高	1,544,115
7. 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	61,798
8. 現金及び現金同等物の期末残高	1,429,141

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～12月31日）

	調味料事業 (千円)	機能食品事業 (千円)	水産物事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	7,252,661	4,602,185	1,657,201	853,844	14,365,894	—	14,365,894
営業費用	6,413,849	4,396,115	1,678,707	854,330	13,343,003	270,199	13,613,202
営業利益	838,812	206,070	△21,505	△485	1,022,891	△270,199	752,692

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～12月31日）

本邦の売上高及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合が、いずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～12月31日）

海外売上高が連続売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

## 6. その他の情報

該当事項はありません。